

# 屋根雨漏り修理工事報告

平成14年7月2日  
報告：桜田板金工業所

## 修理前の状況

雨水が東側に多く流れていきました。



## 修理完了状況

雨水が西側(漏って無い方)へ流れています。



## 新規カバーの角度

雨水が西側へ落ちて流れています



## 前回見積時から形状変更した理由

現在雨漏りしている東側へ出来るだけ雨水の量を減らす為  
に形状変更しました。

## 取付用下地取付状況

既存下地にしっかり取付ています。



# 上下端部の納め

## 樋側端部の状況

東・西が別の建物でしかも場内クレーンの影響で屋根が揺れています。このような納めではすぐ切れてしまいます。

この端部では接続部には一切ビス止めせずに屋根側のカバー下地から延長して取付けて有ります。



## 最上部の状況

この部分も東西の建物が交差してコーリング納めではどうしても切れてしまう部分です  
(とても複雑な納め方)

既存カバーよりシンプルに大きく囲ってあります。



大雨時に確認に伺いますが、会社でも少量の雨でも注意して確認を行って下さい。  
雨漏りは古くなった建物ほど治りにくいものです。  
必ず治す強い意志を持ち、絶対に諦めない事が一番重要です。